

取扱説明書

型番:CMWCSHDR



保証期間: 6ヶ月

※納品書・レシート等が保証書の代わりとなります。

サポートのご案内

■ 修理のご案内

動作しない、お買い上げ時から問題が発生しているなどの場合は、ご連絡不要にて対応をさせていただきます。症状を記載したメモ、購入日が確認できる納品書やレシート、商品をご住所までご送付ください(お届け日より1週間以内の場合は、初期不良として着払いにてご送付いただけます)

ご質問が多い内容については、Q&Aページを記載している場合がございます。また新しいマニュアルを公開している場合がございます(PCサイトのみ)

<https://www.thanko.jp/support/download.html>

ご質問などが多い内容については、Q&Aページに記載している場合がございます。

<https://www.thanko.jp/support/qa.html>

■メールでのお問い合わせ

お客様の御名前、商品名、お問い合わせ内容を記載し、下記アドレスまでご連絡ください(マイクロソフト、Yahoo、携帯メールアドレスでは返信ができない場合があります)

support@thanko.jp

※使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷に関してはサポート外となります。

サンコーカスタマサポート(修理品の送付先)

〒101-0021

東京都千代田区外神田4-9-8 神田石川ビル 4階

TEL 03-3526-4328 FAX03-3526-4329

(月～金 10:00-12:00、13:00-18:00 土日祝日を除く)

●仕様

サイズ	幅65×高さ75×奥行28(mm)
重さ	71g
付属品	ホルダー、固定シート2枚、ケーブルクリップ、USBケーブル(95cm)、ウェットシート、ドライシート、QRコードカード、日本語説明書
電源	USBより給電(2A以上をご使用ください)
対応サイズ	横幅62～85mm程度 厚み:13mm程度まで
入力	5V/2A
ワイヤレス出力	Android:最大10W iPhone:最大7.5W ※急速充電非対応
アプリ要件	Android4.2以降 iOS8.0以降
パッケージサイズ	幅80×高さ105×奥行50(mm)
パッケージ込重量	148g

●セット内容



- ①ホルダー(保護フィルム付使用時は剥がしてください)
②固定シート2枚 ③ケーブルクリップ
④USBケーブル(95cm) ⑤ウェットシート
⑥ドライシート ⑦QRコードカード

⚠️ ご注意

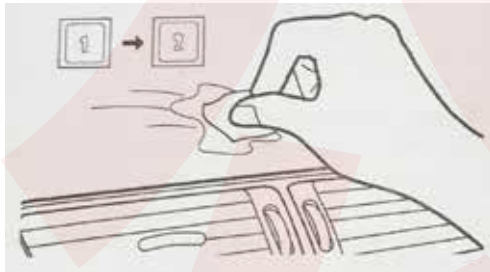
- ※本製品には、内蔵バッテリーはございません。
- ※内容品に記載している以外の物は付属しません。
- ※お子様の手の届かない所で保管・ご使用下さい。
- ※落としたり強い衝撃を与えないでください。
- ※分解しないでください。
- ※本製品をご利用において生じる物品の破損は、補償の対象外となります。
- ※高温/多湿/火気の近くで保管、使用しないでください。
- ※本製品に熱や異音、異臭などの以上が認められた場合は直ちにご利用を止め、弊社サポートセンターまでご連絡下さい。
- ※仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。

ドラレコアプリについて

アプリ開発会社により動作などに変更がある場合がございます。弊社サポートではアプリに関するサポート対応は承っておりません。予めご了承ください。

●取付方法

①ホルダーを固定する場所を、付属のウェットシートで拭いた後、ドライシートでふき取ります。



②固定シート裏の保護シートを剥がし、しっかりと押さえ付けて貼り付けます。



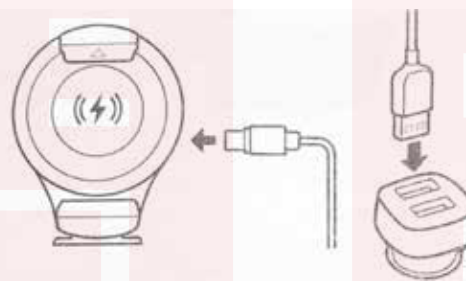
③ホルダーを下図のようにスライドさせ、カチッと音くなるまで奥にはめてください。



④ホルダー側面にあるUSB Type-Cポートに付属のケーブルを差し込みます。



⑤USB側をUSBシガーソケットチャージャー(別売)などに差し込みます。



⑥スマートフォンをホルダーの片方のアームにひっかけ、もう片方のアームをスマートフォンサイズにあわせて引っ張りながら固定します。



●カメラの方向について

ドライレコーダーとして使用する場合、スマートフォンの向きは必ずカメラが上側になるようにセットして下さい。



カメラを下側にセットした場合、撮影したデータを本体に移行した時、映像が上下逆になります。

● 充電について

Qi対応スマートフォンの場合、ホルダーにセットすると充電が開始されます。Qi充電時はLEDライトが緑に点灯します。満充電になってもライトでお知らせする等の機能はありません。スマートフォン画面にてご確認ください。



Qi 対応スマートフォンのみワイヤレス充電ができます。ケースをつけていると充電できないことがありますのでその場合はケースを外してご使用下さい。Qi 対応機器のQi 受信部の位置と充電可能範囲の位置を合わせてスマホを置いてください。(電極同士がずれていると通電しません)交通系IC カード、磁気テープやRFID チップを搭載したカードやセキュリティパッチを入れたまま無線充電しないでください。破損の恐れがあります。

● 簡単な使い方

iPhoneとAndroidでは多少操作が異なる場合があります。(本説明書ではiPhoneの画面での説明となります)Androidでも同様にお使いいただけますが、一部Androidでは使用できない機能があります。

再生アイコン Settings(設定)



この画面で右下の「REC」ボタンを選べば自動的に録画が開始されます。撮影を止める場合は、右下の「OFF」をタップしてください。
※スクリーンセーバーについて
本機能はAndroidのみ使用できます。Screenoffにチェックを入れた場合、録画開始するとすぐに画面がオフ状態になります。(録画継続)チェックを外した場合、画面タッチすると画面表示がオフになります。(録画継続)どちらの場合も再度画面に触れると画面表示されます。
※一定時間操作がないと、カメラ画面に移行します。

● アプリのインストール



①この中にカードが入っていますので開けてください。



Mate2GO

②カバーの内側、またはカード裏面にあるQRコードを読み取り、アプリをダウンロードします。

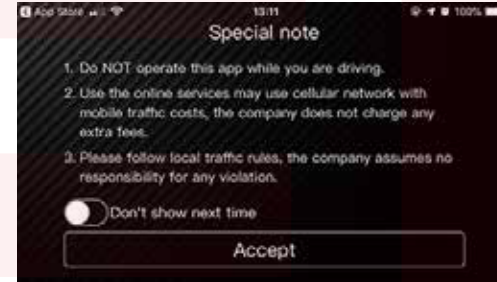
QRコードを読めない場合はAPP Store/Google playで【mate2go】で検索してください。



③銀色の部分を10円玉などで削り、QRコードを出しておきます。

● アプリの準備

①Mate2Goを開きます。
②位置情報のアクセス許可を求められるので「許可」を選びます。
③利用規約の同意画面が表示されます。



④次回から表示させたくない場合は、「Don't show next time」の横のスライダーを動かしておきます。
【Accept】をタップします。
※Androidの場合はチェックボックスにチェックをいれます。
⑤カメラ・写真・フォルダ・音声へのアクセスを求められます。それぞれ「許可」を選びます。



⑥【Barcode】をタップするとカメラに切り替わりますので、カードの表にあるQRコードを読ませます。
⑦メイン画面に移行します。

※Androidの場合メイン画面移行前に「Please enable GPS, we need location when recording video」と注意が出る場合があります。その際は【CANCEL】を選択してください。メイン画面に移行します。

使用しない時(または車を降りる時)はアプリを終了させて下さい。アプリを起動させたままですとスマホの電池が減っていきます。

● 設定について

メイン画面で右上の歯車アイコンを右上の歯車アイコンをタップすると詳細設定画面に移行します。

【Video settings】

●Video quality…画像の大きさを選びます。

・Video resolution (ビデオ解像度)
640×480/1280×720/1920×1080

・Video quality (ビデオ品質)
Low/Medium/High

●Video frame rate…1秒ごとのフレーム数を選びます。7/15/30 (fps)

※上記2項目は数字が大きくなると、データ量も増えますのでご注意ください。

●Video length…1ファイルの長さ
2/5/10/20/30(分)

●Number of temporary video…スマホ内に保存されるファイルの数。例えば5で設定した場合、ファイルの数が6以上になると古いデータから上書きされていきます。

●G-Sensor…車が衝撃を受けた場合、自動的に録画を開始し、録画したデータは上書きされないように保護されます。

Emergency save video…オンになると衝撃感知で自動的に録画を開始します。

次に、センサー感知の感度を設定します。

High Sensitivity
Medium Sensitivity
Default Sensitivity
Low Sensitivity
Highの方がより衝撃を感知します。データ量が大きくなりがちになるのでご注意ください。

【Speed settings】

録画画面の設定を行えます。スライドをオン(赤)にすると、録画したデータにスピードなどが追加されます。

●Unit/Language…日本では【Metric】を選択してください。

●Speed…車のスピードkm/hの表示設定

●Coordinate…位置座標の表示設定

●Bearing…方位の表示設定

●Time…時間表示設定

【Usage】

スマートフォンの容量をどういった割合で使っているか、円グラフで表示します。

【About】

アプリ開発会社の情報

● 録画面



緊急用メニュー

●Emergency…録画を開始し、データがSaved Fileに保存されます(上書きされないデータが作成されません)

●Mic…音声録音のオンオフ

●110/119(※Androidは120)/Rescue…使用しないでください

●Map…地図表示

メニュー表示

●Display…画面表示方法の切替

Speed limit—Gセンサーとスピード表示

Racing—方位とスピード表示

HUD—方位とスピード表示(カメラ映像なし)

MAP—地図表示

●Videos…録画した映像を確認

●Settings…設定画面に変わります

● 再生画面



Videosを選択すると、録画したデータを見る事が出来ます。
データをタップすると再生開始します。
スライドさせるとメニューが表示されます。
各メニュー内容は↑画像で確認してください。
・Temporary videosについて
一時保存ファイルになります。このファイルはiPhoneの写真フォルダでは確認できないデータとなります。ここにあるデータは、ループ撮影の際古いデータから上書き保存されていきます。
・Saved videosについて
保存ファイルになります。このファイルは上書き保存されません。Gセンサー感知による録画データはここに保存されます。

◆iPhoneのみ

Temporary videosにあるデータを上書きしたくない場合は、データ箇所をスライドさせ、一番左のアイコンをタップしてください。
下のsave videosに移動します。
スマホ本体の写真フォルダ(Androidの場合はギャラリー)に保存したい場合は、データ箇所をスライドさせ、真ん中のアイコンをタップします。



選択が出来ます。
Export video only(fast)の場合、撮影した動画のみを本体内に保存します。
Export video and info(slow)の場合、動画と座標や日時データも一緒に本体内に保存します。
但しデータ量が大きくなり、保存までに時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

カメラをホルダーにセットした時、カメラの位置を下にした場合Export video and info(slow)で本体に保存したデータは、映像が上下逆になります。※座標やスピード等の文字は上下が正しく表示されます。
保存した映像が上下逆だった場合は、スマートフォンのカメラの方向をご確認ください。

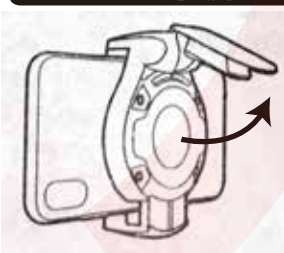
Androidの場合、アイコンはありますがスマートフォン本体の動画フォルダにデータを保存する機能はありません。
残したいデータは、データ箇所を左にスライドし、一番右のアイコンをタップしてsave videosで保存ファイルにしてください。

カードのQRコードは、iPhone(APP store)で1台Android(Google play)で1台使用する事が出来ます。2台目以降は制限のある無償バージョンになりますのでご了承ください。
QRコードは使いまわしできません。
カードは紛失しないようご注意ください。

アプリ開発会社により動作などに変更がある場合がございます。弊社サポートではアプリに関するサポート対応は承っておりません。予めご了承ください。

HUAWEI製スマートフォンについては動作の保証はできません。

● ホルダーの角度調整



ホルダーは様々な方向に動かすことができます。お好みに合わせて調整してください。

